實性寺 表千家茶道 4月稽古 令和二年

《新型コロナウイルス感染拡大防止緊急事態宣言により四月稽古は一回のみ》

聴松軒

炉のなごみ

- 廻り炭
- 透木（裏甲釜）
- 旅箪笥　濃茶
- 旅箪笥　薄茶・芝点
- 炉・風炉入れ替え

廻り炭

透木

旅箪笥 濃茶

［掛物］三十六歌仙源順「春・・・」

［花入］うずくまる＝席主作

花　「椿」

［香合］染付「隅田川」

［炭斗］油竹　利休好

［釜］裏甲釜＝喜平作

炉縁　かき合わせ　席主＝鱗鶴画

［棚］旅箪笥

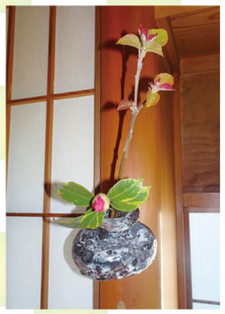
［水指］オランダ写し　万古焼き＝勝山作

宗完宗匠箱

［茶入］大棗

仕服　笹蔦緞子

掛物 三十六歌仙源順



花入 うずくまる

茶入 大棗

［茶碗］黒織部沓型　甲つなぎ紋

替　馬上盃狂言袴　膳所焼

〃　薩摩焼

［茶杓］「土筆」　喝道老師

［薄茶器］尻張棗「春の野」

建水　伝来写　エフゴ

蓋置　萩　五徳

［菓子器］根来一文字喰篭

［干菓子器］春日杉四方盆

菓子　「多胡の浦」＝とらや製

干菓子　「卵子せんべい」

濃茶　葉茶　猶有斎好「楽寿の昔」＝柳桜園

薄茶　猶有斎好「清友の白」＝柳桜園

茶碗 替 薩摩焼

茶碗 替
馬上盃狂言袴

茶碗 黒織部沓型

茶杓 土筆

薄茶器 蓋置 萩

薄茶器 春の野

干菓子器 春日杉四方盆

【炉のなごり】炉中の灰も多くなり、裏甲釜を使用

透木のあつかい方

【廻り炭】

巴半田、筋半田の作り方

亭主の役割

火箸の本手と逆手、長火箸のあつかい

二順目、三順目では

【旅箪笥】

濃茶の点前

仕服の置き用

五徳の蓋置のあつかい

【仕服棗】

掃き切り茶入れのあつかい

（男子点前の特長）

【芝　点】

中板の出し入れ

【風炉の灰おさえ】